

島嶼産業研究会

会 報

第 11 号 2018 年 11 月 12 日 (金)

【発行】島嶼産業研究会 事務局
〒890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20
鹿児島大学水産学部内
k9650024@fish.kagoshima-u.ac.jp
TEL 099-286-4291
FAX 099-286-4297
<http://international-islands.jimdo.com/>

ごあいさつ

11月10日、島嶼コミュニティ学会との共同開催で、第7回研究会を行いました。多様性に富んだ話題が提供され、勉強になった1日となりました。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、2018年も残り1ヵ月と少しくなりました。12月8日(土)、2018年の締めくくりの研究会を鹿児島大学において開催いたします。皆様方にお目にかかることができるのを楽しみにしております。

島嶼産業研究会 事務局

1. 第8回・勉強会のお知らせ

日時：2018年12月8日

場所：鹿児島大学郡元キャンパス・国際島嶼教育研究センター5階

時間：16時30分～18時(研究会後、懇親会を予定しております)

「九州の奄美から近代の奄美へ」：皆村武一(鹿児島大学名誉教授)

2. 第7回・研究会の開催報告

2018年11月10日、島嶼コミュニティ学会との共催で研究会を開催いたしました。両会より計8題の報告がありました。

はじめに、乾様(水土舎)より、「小さな離島の産業史と現在」というタイトルで、離島の産業構造の変化と現状について非常に詳しい報告を頂きました。かつて、離島に立地することが有利な産業がいくつもあり、それらが離島の経済や社会を支えていました。しかし、社会環境や経済環境の変化により、それらの有利性は次第に失われ、離島の無人島化が危惧されるほど、その経済や社会が弱体化していることについて、実証的に報告を頂きました。その後、島嶼産業研究会から3題、離島のエネルギー問題、有人国境離島支援プロジェクトから見てきた問題、海外の離島における経済振興の取り組み事例について紹介がありました。

つづいて、島嶼コミュニティ学会から4題、離島の医療問題、昆虫食の話題、明治初期の桐シアン振興と葬儀にかかる話題、中国の伝統武術にかかる話題について紹介がありました。

バラエティに富んだ話題提供があり、普段、接することが少ない情報も得ることが出来たように思います。

また、複数の方々に研究会に加わって頂くことができました。離島が抱える産業問題について、多様な視点と立場から、関心と研究、そして実践が深まりますことを祈念しております。



3. 情報発信について

島嶼産業研究会では、ホームページ (<http://international-islands.jimdo.com/>) のほか、フェイスブックでも情報発信を行っております (<https://www.facebook.com/groups/560012734193149/>)。皆様方の活動の様子を気軽にアップしていただくと助かります。どうぞよろしくお願いいたします。